



# あすもりサポーター通信

## Fの森

### 森づくりワークショップ プランづくり進行中!

2013年から、新しいエリアで森づくりが  
はじまります。

2013年から「コープ未来の森づくり基金」では、当別  
道民の森の新しいエリアで森づくりを行います。

この場所で私たちの森づくりが、これまでの植樹を中心とした活動から、森について学び、未来にどんな森を残したいかを自分たちで考え、デザインして実現していく活動へと変わっていきようとしています。今年の春、この場所でどうい  
う森づくりを行っていくかを考える新しいプロジェクトが生まれました。それが  
このワークショップ。あすもりサポーターのみなさんに参加者募集をしたところ、20名を超える方が参加してくれました。



#### どんな森をつくるの？ そのためにはどんな学びが必要なの？

ワークショップは新しい森づくり予定地を調査することから始まりました。人の手が入る前はどのような場所だったのか、  
どのような樹木に適した場所なのか、ここでどうい森づくりを楽しみたいのか、どんな知識や技術が必要なのか、さらに  
森づくりのスタッフ体験まで、ぎっしりと内容の濃い全6回の活動を通じて、2013年から始まる森づくりのプランを  
つくる、それがこのワークショップです。「最初は地図をどう見たらいいかもわからなかった」という後藤さん、自然を  
知れば知るほど、森づくりの豊かさ面白さが深まっていますね。「数回の現地踏査を経て、いよいよFの森がWS参加  
者の共通認識になって来ました。樹を植える前から 未来の森を歩く自分を想像するのはワクワクしますね!」と細目さん。



#### Fの森のプランの実現に向けて

地形図を片手に周辺の自然を調査し、地形の特徴を書き込み、カタクリの丘、トンボ  
沢、ネコノメ湿地…地図と目印を一致させ、エリアに特徴を表す呼び名をつけました。  
予想以上の多様な自然があり、今ある植生をそのまま残したい場所も出てきました。  
5回目からは、デスクワーク、森のイメージを具体的に描きだす作業に入りました。  
イメージを伝えあい、みんなで形にしていくのはたいへんだけれど楽しい作業です。  
途中経過は同封の「Fの森通信」をご覧ください。参加者の真剣なまなざし、いきいき  
とした表情が伝わるでしょうか？

この森づくりプラン、来年1月26日に開催される「森づくり交流会」でのお披露目を  
めざしています。そして2013年春から、このプランをもとにして「Fの森」の森づくり  
がはじまります。あすもりサポーターのみなさん、実現に向けてご協力お願いします。



打ち込む



麻ひもで2~3ヶ所結ぶ

## 当別「コープの森」育樹会報告



10月21日(日)、当別道民の森・神居尻地区にある「コープの森」で育樹作業を行  
いました。当日は晩秋をおもわせる見事な紅葉のなか、33名のみなさんに参加して  
いただき、今年の春に植樹したシラカンバを重点的に、雪折れ対策の作業をして  
きました。

当別は雪が深いのです。今春も2m以上の積雪が報告されていました。これまで  
も雪により苗木が折れてしまうので、補植をしたり、割り箸を添え木にして補  
ていをしてきました。「木」の力はすごいです。折れて、もう枯れてしまっ  
たかと思う木も手をかけると甦ったり、折れた枝の横から萌芽がしっかり  
伸びてくることも多々あります。しかし、雪や寒さという自然の力もまた  
すごいです。結構たく育っていた幹が、雪どけの時に凍ったりする影  
響で、複雑骨折したかのように折れてしまうのです。

そこで今年はグラスファイバー(以下、GF)による補てい作業をすることにしました。2mのGFを300本と幹に結ぶ麻ひもを1000本用意しました。まず、GFを差し込む穴をあけて地面に刺し、GFの先端に専用の金具を付けてから、木づちで叩いてしっかりと打ち込みます。振り下ろすす力があるので、男性陣の仕事になりました。女性陣はGFと幹を麻ひもで結び、2~3ヶ所固定します。幹になるべく負担がかからないように結ぶ力加減が難しかったです。300本の作業を終えるのにどのぐらい時間がかかるのだろうと心配しましたが、みなさんも慣れてくるとスピードアップして、1時間足らずで作業を終了することができました。来春の成果が楽しみです。







## 北海道漁協女性部連絡協議会が 「四半世紀にわたる海を豊かにする植樹運動」で 第66回北海道新聞文化賞を受賞しました。

コープ未来の森づくり基金では全道10ヶ所で森づくりを進めているほか、北海道内で行われている森づくり活動を資金支援などの形で応援しています。2009年の基金発足以来、ぎょれんを通じて、北海道漁協女性部連絡協議会が進めている「お魚殖やす植樹運動」を応援しています。

これは「豊かな海を守ろう」と北海道漁協女性部連絡協議会が中心となって実施している、全道一斉の森づくり活動です。「100年かけて100年前の自然の浜を」をモットーに、1988年以降これまでに90万本を超える植樹を全道各地の森や川で行い、苗木を守り、育てています。

2012年11月、こうした取り組みが、北海道の文化や産業への功績がたたえられる「第66回北海道新聞文化賞」の経済部門を受賞しました。受賞式には北海道漁協女性部連絡協議会の平賀由喜子会長が出席されました。現在では地元漁協（漁業協同組合）や地域住民を巻き込んだ活動となった「お魚殖やす植樹運動」。公式ホームページには、森・川・海のつながりなどがわかりやすく掲載されています。どうぞ一読ください。



(写真提供: ぎょれん「お魚殖やす植樹運動」ホームページ<http://sakana-fuyasu.jp/>)

### あすもり基金 助成団体紹介

(2009年度小額助成)

#### NPO法人登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ 活動拠点 / 登別市

2002年、登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」の運営支援団体として誕生し、会員の特技を活かした自然体験活動や人材育成などの実績が認められて、2005年には同センターの指定管理者に選ばれました。宿泊施設を備えた「ふおれすと鉱山」と周囲に広がる7haの森を拠点に、「人と人、人と自然をつなげる」をテーマに、自然と共生できる暮らしとまちづくりを進めています。2008年からは学びの森エリアで「100年後につなぐ里山づくり」をスタート。毎月1回の「里山づくりの日」は森を育てながら、森に親しみ、森をつかう視点を大切にしています。12月22日には里山で作った炭を使う「里山を食べる日～炭DE食べよう」を実施予定。来年1月中旬の冬遊びを満喫する「スペシャルウィーク」をはじめ、自然ウォッチングやひげ工房木の学校など、冬も行事が盛りだくさん。ホームページの活動カレンダーをチェックして、どうぞお出かけください。



ホームページ <http://npo-momonga.org/>

### あすもり事務局から

#### 「第3回北海道森づくり交流会」のお知らせ

日時: 1月26日(土) 13時～16時

会場: 全道7ヶ所(第1部 TV会議、第2部 地域交流会)

北海道の森づくりが持続的に発展するためには、森づくりに関心のある組合員のみならずと森づくり団体がともに、市民が参加する森づくり活動をすすめることが大切です。このため、2010年から「北海道の森づくり交流会」を開催しています。今年の基調講演の講師は市民参加の森づくりのトップランナー、京都大学の中川重年氏です。お近くの会場へどうぞ参加ください。申込方法など詳細は、同封のチラシをご覧ください。

あすもりのドングリマークを真ん中  
に入れたQRコードが出来ました。

携帯電話などのバーコードリーダーで撮影すると、あすもりのFacebookページを開くことができます。

<https://www.facebook.com/coop.asumori>



### 森の本

毎号1冊、森づくりに関する  
おすすめの本を紹介します。

#### 「森のいのち」

写真・文: 小寺卓也  
発行元: アリス館



小寺さんは芽室町在住の写真家で「森の息吹」や「つながり」をたいせつにしていらっしゃいます。

森歩きをしながら見過ごしてしまいそうなものを素敵な映像に切り取ってみせてくれますが、そ奥の森の空気感や光が見事です。「だって春だもん」「いっしょだよ」の2冊もおすすめです。